

-----5月29日-----

2017年

※ 今週のアウトルック (5/29~6/2)

先週は狭いレンジ内での取引となる通貨ペアが多かったようです。週末にG7を控えるも、為替を左右するような共同声明などに対する期待感は薄く、決定的な要因にも乏しく、様子見的な動きが主体となりました。

今週はG7を終え、米国の雇用統計の結果に向けた動きが主体となりそうですが、結果によっては、当面のトレンドを示唆する動きとなる可能性はありそうです。

先週のドル円は、111円から112円の間狭い動きとなりました。

今週は後半から、米国雇用統計の結果を睨んだ動きとなりそうですが、結果次第ではありますが、112円を超えて上昇というより、110円以下に突入という可能性のほうが幾分高いようにも思います。また、110円以下に突入した場合には、108円あたりを目指す動きとなりそうです。

ドル円の予想レンジは108円から113円です。

ユーロ円は先週、125円から126円のレジスタンスを破ることができず、週末には一度124円台前半まで下落しています。

今週も126円付近のレジスタンスをブレイクできない場合には、一度122円付近まで調整する可能性が出てくるように思います。

ユーロ円の予想レンジは122円から128円です。

ポンド円は息切れ感が強くなっています。

今週このままりバウンドしない場合には、139円付近までの調整はありそうです。

ポンド円の予想レンジは139円から147円です。

今週は米国雇用統計の結果を睨んだ展開となりそうですが、結果次第では、当面のトレンドが示唆される可能性はありそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。